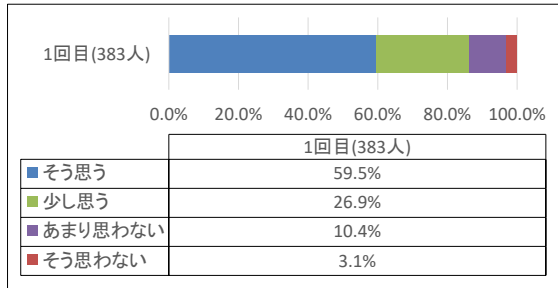


令和8年度 1回目 学校評価（児童）

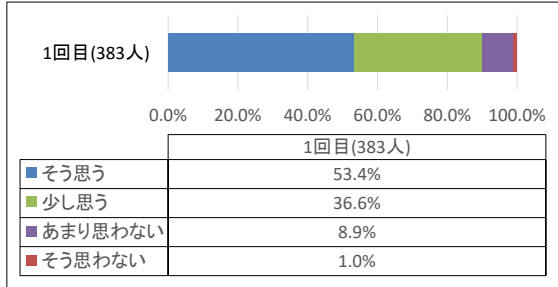
令和8年8月28日

① 学校は、楽しい。



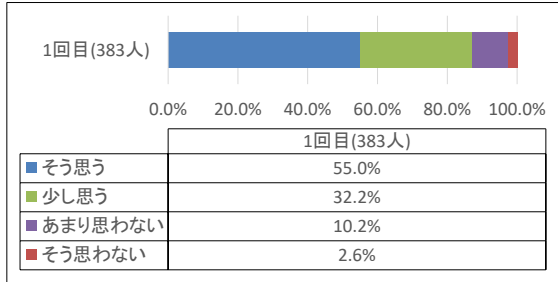
そう思う・少し思う
86.4%
52名の児童が「あまり・そう思わない」と答えている。QUの結果等とも照らし合わせながら、支援や助言の必要な児童への手立てを考えていく必要がある。
保護者93.9%

② 学校の勉強がよくわかる。



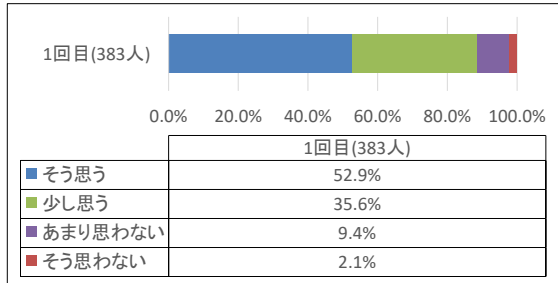
そう思う・少し思う
90.1%
半数以上がよくわかると回答していることは授業改善の成果が出てきている。約38名のわからないと答えている児童の手立てを考えていく必要がある。
保護者88.1%

③ 自分の考えをノートなどに書くことができています。



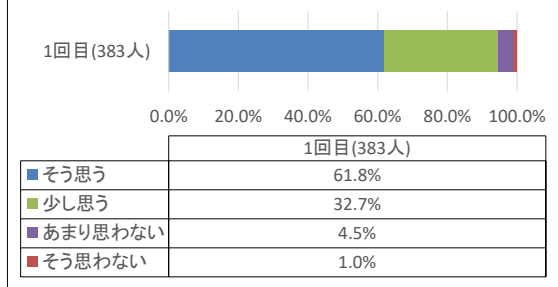
そう思う・少し思う
87.2%
どのように書いていけば「そう思う」になるのか、児童に具体的な評価の観点を示す必要があるのではないかと。教員自身もそれをもって評価していくことが必要である。

④ 授業中、友だちと考えを伝えあう学習ができています。



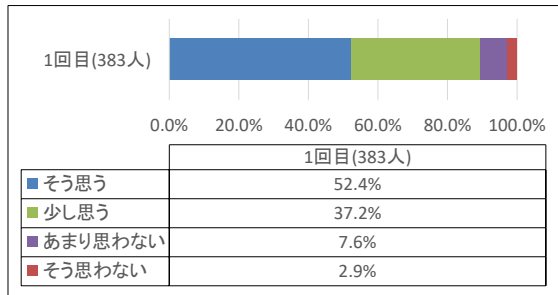
そう思う・少し思う
88.5%
高学年を中心に、伝え合う姿勢は身についてきていると感じている。発表者が偏ってきてはいないか確認し、皆が伝え合っていることを実感できる工夫が必要である。
思いを伝えられている

⑤ きまりを守って、みんなと仲よくできている。



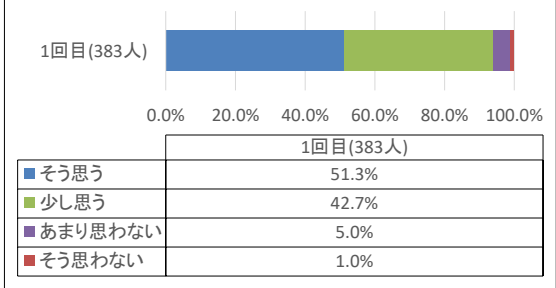
そう思う・少し思う
94.5%
仲良くできていると感じている児童が多いことは良い点である。生活委員会・運営委員会の児童を中心とした「きまりを守る」「なかよくする」ための活動を継続していく。

⑥ 自分や友だちの良いところを見つけている。



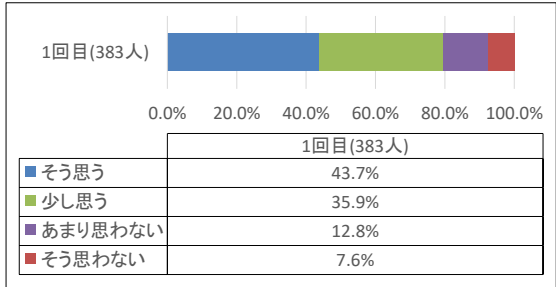
そう思う・少し思う
89.5%
帰りの会等で、良いところを見つけをしている学年が多い。見つけられないという子への支援や助言を工夫していく。

⑦ 友だちの気持ちを考え、やさしい言葉遣いをしている。



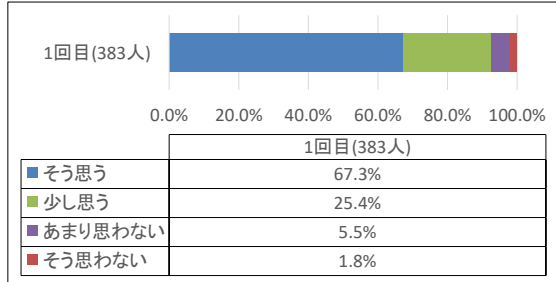
そう思う・少し思う
94.0%
いじめにつながる事項なので100%を目指したい。人権意識を高める取り組みの工夫が必要である。
保護者86.8%

⑧ 困ったことがあれば先生たちに相談することができる。



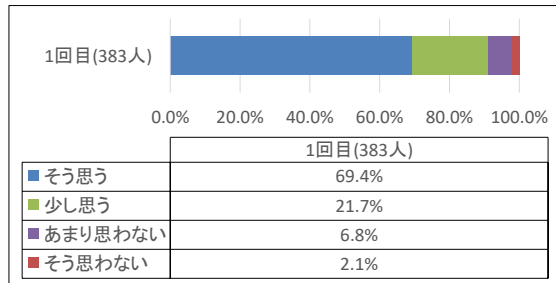
そう思う・少し思う
79.6%
教職員の児童理解をさらに深めていく必要がある。いじめ、不登校の未然防止につなげるためにも、困りを相談できる存在となるよう信頼関係の構築に努める。

⑨ 進んで委員会や係の仕事をしている。



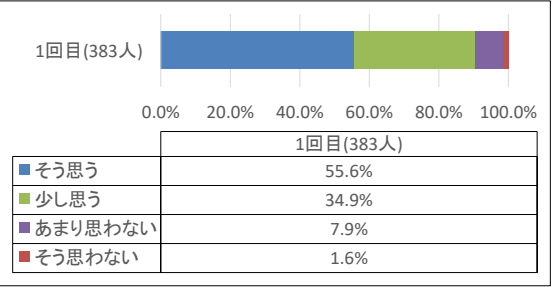
そう思う・少し思う
92.7%
5・6年生の委員会活動の様子をみると、意欲的で積極的な姿勢である。よい校風として下学年に引き継げるようにしていく。
家での手伝い 保護者68.8%

⑩ 進んで運動をしている。(外遊び・家での運動も含む)



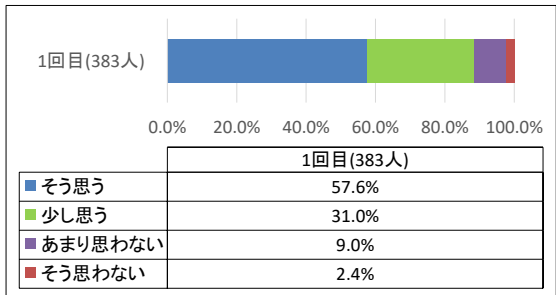
そう思う・少し思う
91.1%
休み時間に校庭で遊ぶ児童が多い。体育委員会の遊び紹介の活動が始まるのでその効果を見ていく。

⑪ 自分から進んであいさつしている。



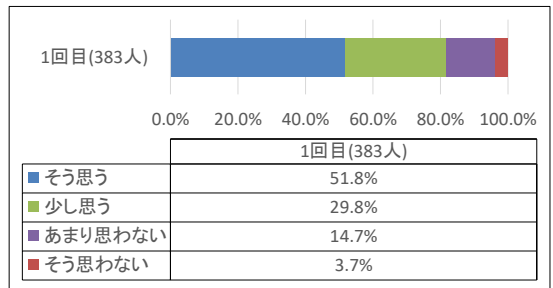
そう思う・少し思う
90.6%
児童会の挨拶運動の取り組みの成果もあり、積極的に挨拶をする児童が増えている。「先手挨拶」、「地域の方にも」の定着を図る。 家での挨拶 保護者96.3%

⑫ 図書室で借りた本を最後まで読んでいる。



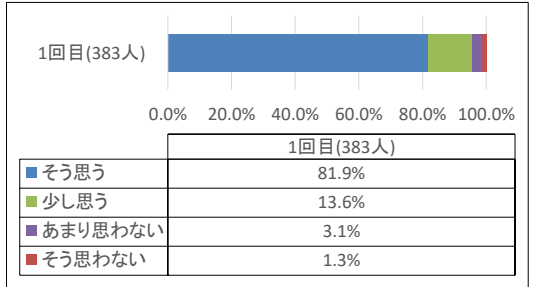
そう思う・少し思う
88.6%
今年度は読書の時間を増やすようにしている。静かに読んでいる姿や、図書室に借り換えに行く姿を多く見る。最後まで読みきる支援や助言を工夫する。
家での読書 保護者36.3%

⑬ 「早寝、早起き、朝ごはん」ができています。



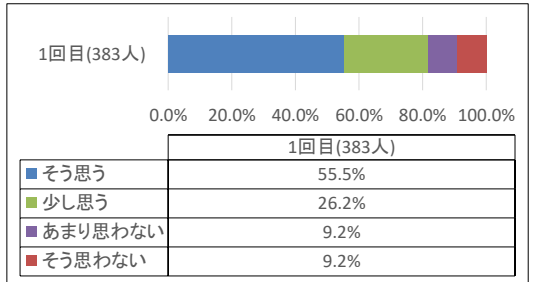
そう思う・少し思う
81.7%
保護者アンケートでも同じような値になっていた。児童・保護者両方への啓発を続けていく必要がある。
保護者86.8%

⑭ 家での学習（宿題など）をしている。



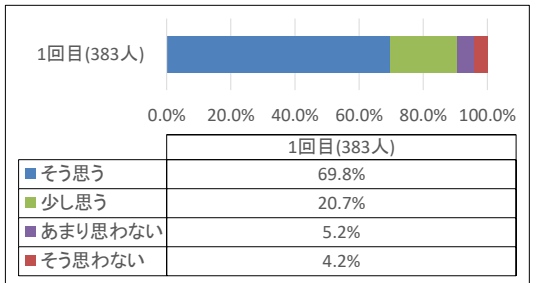
そう思う・少し思う
95.5%
保護者アンケートよりも児童自身の評価の方が高くなっている。この姿勢を継続させつつ、そう思わない子への手立てを講じていく。
保護者87.8%

⑮ テレビ・ゲーム・YouTubeなど、決めた時間が守れている。



そう思う・少し思う
81.7%
質問⑬と関係があるかもしれない。坂ノ市中学校区のきまりを確認し、周知させていく必要がある。

⑯ 自分なりの目標や夢を持っている。



そう思う・少し思う
90.6%
学期の目標や将来の夢、仕事等について、考えていることがわかる。2学期以降多くの行事を通して、目標や夢に向けて粘り強く取り組む姿勢を育てていく。
保護者66.1%